

## Our Executive Team

各執行役の略歴 

オリンパスは、患者さんの安全を最優先に考え、「私たちの存在意義」の実現に注力しています。世界をリードするメドテックカンパニーを目指し、経営戦略の実行を推進している執行役をご紹介します。

### 竹内 康雄

取締役 代表執行役 会長 兼  
ESGオフィサー (ESG担当役員)



### ボブ・ホワイト

取締役 代表執行役 社長 兼  
CEO (最高経営責任者)



### ジョン・デ・チェル

執行役  
チーフメディカルオフィサー  
(最高医学責任者)



#### 職務分掌

メディカルアフェアーズ\*1に関する機能の業務を管掌

#### 2026年3月期の重点施策

##### クリニカルアフェアーズ:

- リアルワールドエビデンス (幅広い情報源から得られる日常的な医療データを解析して得られる臨床エビデンス)、臨床レジストリ (特定の疾患や治療等について医療情報を収集したデータベース)、共同研究など、従来とは異なるエビデンス創出手法の活用を拡大
- 新たなグローバル臨床試験および助成金管理プラットフォームの導入による業務効率化の実現

##### メディカルアフェアーズ:

- 世界的に著名な呼吸器および消化器領域の臨床リーダーの採用等により、社内の医学専門家チームを強化
- 社内の医学専門家チームを活用し、臨床のアンメットニーズを特定し、戦略の立案、新製品開発やM&Aを検討する際の評価に貢献

##### 医療経済・市場アクセス:

- 保険適用の拡大により、iTind\*4の普及を加速
- 集中購買 (購入量ベース調達制度)、DRG支払い制度 (1入院当たりの包括支払い) など、中国における市場アクセスの課題に対して、医学価値の訴求により差別化を図り、新たなソリューションを提供

##### 医療従事者へのトレーニング:

- 新興国市場における医療従事者向けトレーニング活動を拡大
- 医療従事者向け包括的トレーニングプラットフォーム「オリンパスコンティニューム」の拡充

##### 医療安全:

- オリンパスの5つの地域\*2で連携した医療安全活動を実施
- 品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」の推進をサポート

### フランク・ドレバロウスキー

執行役  
ガストロインテスティナル  
ソリューションズ  
(最高消化器内視鏡  
ソリューション事業責任者)



#### 職務分掌

消化器内視鏡ソリューション事業の業務を管掌

#### 2026年3月期の重点施策

##### 消化器内視鏡:

- 米国市場においてEVIS X1の発売第2フェーズを開始
- EDOF (被写界深度拡大) 技術搭載スコープにて差別化されたラインアップを提供: 高倍率と広い焦点による拡大観察により、より容易な組織の識別に寄与
- 新興国市場での市場シェア拡大をターゲットにしたアプローチを継続
- 中国での消化器内視鏡の現地生産と市場投入に向けた施策の加速
- 「Aplio」(キヤノンメディカルシステムズとの協業) と「EU-ME3」の2つの超音波内視鏡プラットフォームの導入を推進
- 2026年3月期に欧州および米国で最初のOLYSENSE\*3製品を発売

##### 消化器科処置具:

- ERCP、ESD、メタルステント、止血デバイスなど主要カテゴリーにおいて、臨床的に差別化された製品ポートフォリオを拡充
- 主要市場である米国、欧州、日本を含む地域で10以上の製品を発売

##### 医療サービス:

- 予防保守による稼働時間の拡大、予算、運用サポートなどの顧客ニーズに基づき、業界をリードするサービスを提供
- サービス部門と修理部門の緊密な連携により、効率的で顧客重視のサービスを提供

\*1 メディカル&サイエンティフィック・アフェアーズ (MSA) では、医療機器の安全性、有効性、革新性を確保しつつ、患者さん中心の価値提供を推進し、医療アクセスの向上を図っている。また、クリニカルアフェアーズ、メディカルアフェアーズ、医療経済、医療安全、医療従事者を対象としたトレーニングを通じて、臨床ニーズ、規制や保険償還への対応、医師に対する啓発やトレーニングの向上を図り、オリンパスの成長をサポートしている

\*2 米州、欧州、日本、中国、アジア・パシフィック

\*3 OLYSENSEはオリンパス株式会社および/またはそのグループ会社の商標です。すべての商標、ロゴ、ブランド名は、それぞれの所有者に帰属します

\*4 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

### 泉 竜也

執行役  
チーフファイナンシャル  
オフィサー  
(最高財務責任者)



#### 職務分掌

ファイナンス、グループ全体の支出管理、投資家対応に関する機能の業務を管掌

#### 2026年3月期の重点施策

継続的な事業成長と効率性を  
両立させることに注力:

- 成長のために必要不可欠なイノベーションへの投資は確保しつつ、他の経費を効率化していくことで、売上高販管費率が増えないようにコントロール
- ファイナンス機能が適時適切な情報を事業部門に提供し、効率性を重視する経営管理の施策を展開
- 医療の継続性の確保は最優先にしつつも、適切な在庫水準を維持し、キャッシュ・フローへの影響を緩和
- 資本市場との双方向のコミュニケーションにより企業価値増加に貢献
- 事業部門を軸にした経営管理体制の構築
- 米国関税政策や米国食品医薬品局 (FDA) の輸入警告の影響低減に向けた対応をファイナンスの観点からサポート

### ガブリエラ・ケイナー

執行役  
チーフストラテジー  
オフィサー  
(最高経営戦略統括責任者)



#### 職務分掌

- 経営戦略、全社的な変革の取り組み、IT、コーポレート・コミュニケーションの業務を管掌
- リージョナルリプレゼンタティブオフィサー (地域統括役員) 間の連携強化にも取り組む

#### 2026年3月期の重点施策

- 次期経営戦略の策定
- 組織全体を戦略的な指針に沿って整合させるための、強力なコミュニケーションおよびチェンジマネジメントの実行
- 戦略的な目標の達成、優先事項の実行を支援する投資およびリソース配分を行うための強固なガバナンス体制を構築
- 実行力を向上し、説明責任を果たすために主要な戦略的施策に関するKPIをグローバルでモニタリング
- 顧客中心でシンプルなオペレーティングモデルへの移行を目指した、グローバル・オペレーティングモデルの推進
- 持続可能な成長を支えるための、ビジネスプロセス、ケイパビリティ、ツール、要素を統合した全社ロードマップを策定
- グローバル経営執行会議の効率性および実効性の向上

### 小林 哲男

執行役  
チーフマニュファクチャリング  
アンドサプライオフィサー  
(最高製造供給責任者)



#### 職務分掌

サプライチェーンマネジメントを含む製造・調達機能の包括的な管理運営および業務を管掌

#### 2026年3月期の重点施策

- R&D機能との連携を強化し、製品設計における製造・修理・品質、および将来の自動化に向けた観点のインプットを促進 (Design for Excellence)
- サプライチェーン全領域におけるデジタル・トランスフォーメーション、自動化の推進
- 供給ネットワークの最適化による事業機会の最大化、サプライチェーンレジリエンスの向上
- 中国・蘇州工場における生産体制の確立と生産開始の完遂
- 部品調達におけるグローバル・カテゴリーマネジメントの推進によるコスト最適化、サプライヤー事業継続計画 (BCP) の強化
- 各製造拠点におけるFDAコミットメントの完遂、品質マネジメントの継続的強化
- One CMSOとして、機能・拠点間シナジー・エクセレンスの追求による一層の効率化とレジリエンスの向上を促進

### 倉本 聖治

執行役  
サージカルインター  
ベンションソリューションズ  
ベンション事業責任者



#### 職務分掌

サージカルインターベンション事業の業務を管掌

#### 2026年3月期の重点施策

##### 泌尿器科:

- iTind\*の市場開拓を通じて前立腺肥大の分野で業界をリードしつつ、コアのイメージング技術とプラズマ技術の普及率を向上
- SOLTIVE SuperPulsed Laser Systemにより、結石破碎治療における成長を拡大

##### 呼吸器科:

- 肺がんの診断とステージ分類の分野において、最新のEBUS-TBNAに一層注力
- EVIS X1プラットフォームの導入促進を継続し、気管支鏡の強みを強化

##### 外科内視鏡:

- 外科内視鏡システム「VISERA ELITE III」を米国および中国 (2026年3月期第1四半期) で発売し、市場競争力の向上を図る

### サヤード・ナヴィード

執行役  
チーフテクノロジー  
オフィサー  
(最高技術責任者)



#### 職務分掌

グループ全体の技術戦略の構築を主導し、経営戦略と最新の技術・イノベーショントレンドに基づいた競争力のある製品・サービスを開発するとともに、新製品の市場投入計画の確保を担う業務を管掌

#### 2026年3月期の重点施策

##### 変革的なイノベーションの推進:

- 医療支援ロボット技術、デジタル技術、人工知能(AI)などの革新的な技術を融合・進化させ、次世代の低侵襲医療ソリューションの開発を推進
- 医療従事者との連携を強化し、患者さんの安全と品質を第一に考えた、インパクトのあるソリューションを市場に提供

##### 新製品開発における生産性とスピードの向上:

- 新製品開発のR&Dプロセスを最適化し、開発効率の向上、品質の安定化と低コスト化を推進

##### グローバルなR&D拠点を最適化して スケラビリティを向上:

- 新製品の市場投入加速化の推進と効率化を推進するためのインドと中国におけるオフショア開発体制を拡大

##### 重要ケイパビリティ・スキルの獲得および強化:

- コアとなる専門知識に関わるケイパビリティ強化とタレントマネジメントの戦略的推進

##### 健康な組織の育成:

- オープンなカルチャーと成長マインドセットを醸成し、強固なR&D組織を構築

### 大月 重人

執行役  
チーフヒューマン  
リソースオフィサー  
(最高人事総務責任者)



#### 職務分掌

人事・総務機能を包括的に管理運営し、人材マネジメント・人材および職場環境整備に関する機能の業務を管掌

#### 2026年3月期の重点施策

##### 人材戦略の推進:

- 長期的な人材戦略(人材開発と人材管理)の再構築、および経営層の後継者育成計画の策定

##### 人事制度改革:

- グローバルで統一された人事制度の設計、ITシステムの追加導入による制度運用の強化、および日本における制度の浸透

##### 組織構造の再設計:

- シンプルかつ最適化された組織をグローバルに構築

##### 企業風土の変革:

- 会社の戦略的な変革に合致した新たな企業風土の醸成
- 品質保証および法規制(QA&RA)対応強化施策の完遂

##### ESGプログラムの強化:

- 再生可能エネルギーの採用による、カーボンニュートラルの推進
- インクルージョンをさらに推進するための先進的な取り組みの実行

### ボリス・シュコルニック

執行役  
チーフオロリティ  
オフィサー  
(最高品質法規制責任者)



#### 職務分掌

● グローバルな品質および法規制対応に関する戦略の策定と実行を監督・推進する業務を管掌  
品質管理、リスクマネジメント、パフォーマンス改善の取り組みを効果的にリードし、コンプライアンスの徹底、認可・認証取得、製品の安全性、患者さんのアウトカム改善、事業成長を支援する

#### 2026年3月期の重点施策

##### FDAからの警告書で指摘された事項の課題解決:

- FDAに対するコミットメントを完了するとともに、品質管理システムの向上、是正活動の完了、すべてのFDA登録拠点における査察対応の準備を通じて、グローバルでコンプライアンスを強化する

##### 迅速なイノベーションと事業成長を実現するために:

- M&Aのための強固なデューデリジェンスおよび統合プロセスを構築、実行する
- 効率化によりグローバルな認可・認証取得を加速する
- 品質管理システム(QMS)オペレーティングモデルに関して、長期的なQMS設計モデルを策定し、現在のオペレーティングモデルからの移行を進める

##### 成果に焦点を当てる:

- マネジメントレビューおよび品質スコアカードのプロセスを通じて、品質の安定化、強固な安全性と品質文化の醸成を推進するとともに、戦略目標および財務目標達成に向けて規律を持って実行する

### ニール・ボイデン・タナー

執行役  
グローバルジェネラル  
カウンセル  
(最高法務責任者)



#### 職務分掌

● 法務、知的財産、コンプライアンス、リスク/コントロールに関連するグローバル全体の業務を管掌  
● 法令遵守の促進、法務リスクの管理、コーポレートガバナンスに関する助言などを行うとともに、取締役会および経営陣の戦略的アドバイザーとして活動し、複雑な法的環境の中で会社を導き、当社の事業戦略全体の達成に貢献する

#### 2026年3月期の重点施策

- ビジネスパートナーの枠組みを強化し、成長目標の達成に向けたサポートを効率化する
- 知的財産業務をCTOおよび事業戦略に整合させるための取り組みを継続する
- グローバルポリシー、モニタリングとトレーニングプログラムを強化しリスクを軽減する
- 製品開発プロセスに「プライバシー・バイ・デザイン」を組み込むなど、サイバーレジリエンスを引き続き強化する
- 契約プロセスを最適化し、事業目標を達成するためにテクノロジーを活用する
- サード・パーティ・リスクマネジメントを強化するために内部システムを整備する
- グローバルの法人体制を合理化し、最適化されたエグゼクティブガバナンスを構築するとともに、エンタープライズ・リスクマネジメント(ERM)を重点戦略に組み込む
- AIシステムのリスクを継続的に評価し、AIガバナンスポリシーの策定および生成AIに関するトレーニングの整備などを行う
- 外部ベンダーマネジメントの改善を通じて、コスト削減を継続的に推進する